

数字で見る大阪経済のツボ

大阪シティ総合研究所の専属スタッフが
さまざまな経済指標にスポットをあて、
大阪経済の現状を分かりやすく解説します。

2024年3月

大阪府の総生産について

1. 府内総生産

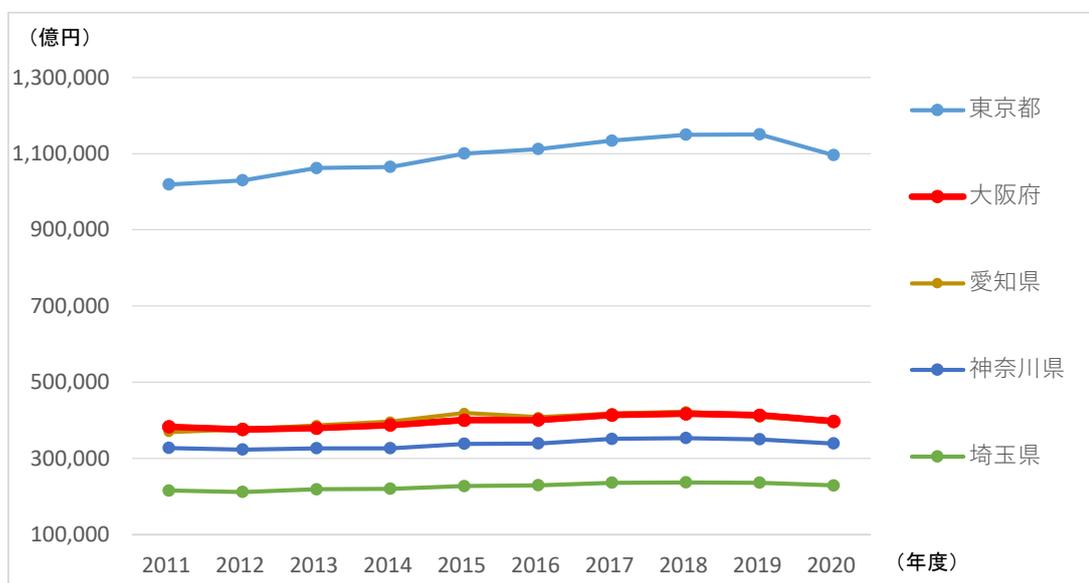
2020（令和2）年度の大阪府の総生産は、39兆7203億円となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響などもあり、2018（平成30）年度の41兆7413億円をピークに2年連続で減少しています。

全県の合計でも、2018年度の584兆5313億円をピークに2年連続で減少していますが、東京都では2019（令和元）年度の115兆632億円がピークとなり、2020年度に減少しました。

総生産の推移・上位5県

（単位：億円）

年度	大阪府	東京都	愛知県	神奈川県	埼玉県	全県計
2011	382,640	1,019,256	369,138	327,571	215,566	5,238,126
2012	376,199	1,029,765	376,528	323,301	212,104	5,223,206
2013	379,929	1,062,123	387,039	326,520	219,192	5,362,977
2014	387,549	1,065,028	396,330	326,413	220,308	5,420,471
2015	400,738	1,100,188	418,932	338,175	227,458	5,627,811
2016	401,069	1,112,134	408,174	339,086	229,356	5,662,744
2017	414,072	1,134,097	418,007	351,235	236,259	5,803,482
2018	417,413	1,149,839	422,901	353,554	237,133	5,845,313
2019	413,131	1,150,632	408,161	350,203	235,993	5,795,567
2020	397,203	1,096,015	396,592	339,054	229,226	5,587,783



2. 経済活動別総生産

大阪府の2020年度の総生産を経済活動別にみますと、最も多いのが、製造業（6兆9685億円、構成比17.8%）で、次いで卸売・小売業（5兆8206億円、同14.9%）、不動産業（5兆1484億円、同13.2%）と続きます。

総生産の構成比を見ますと、総生産が最も多い製造業は17.8%で、東京都（6.9%）より10ポイント以上高くなっていますが、全県平均（21.0%）と比べると3.2ポイント低くなっています。

一方、保健衛生・社会事業（9.5%）、電気・ガス・水道・廃棄物処理業（3.5%）は、全国（9.0%、3.1%）、東京都（6.5%、1.6%）よりも高くなっています。

経済活動別総生産(2020年度)

(単位:億円)

	経済活動	大阪府		東京都		全県計	
		総生産	構成比	総生産	構成比	総生産	構成比
1	製造業	69,685	17.8%	75,791	6.9%	1,169,973	21.0%
2	卸売・小売業	58,206	14.9%	232,613	21.1%	710,332	12.8%
3	不動産業	51,484	13.2%	147,328	13.4%	688,425	12.4%
4	専門・科学技術、業務支援サービス業	39,750	10.2%	134,569	12.2%	474,072	8.5%
5	保健衛生・社会事業	37,193	9.5%	71,406	6.5%	499,966	9.0%
6	情報通信業	21,760	5.6%	127,737	11.6%	277,446	5.0%
7	建設業	20,854	5.3%	46,608	4.2%	311,711	5.6%
8	金融・保険業	16,252	4.2%	84,982	7.7%	232,002	4.2%
9	運輸・郵便業	15,119	3.9%	29,763	2.7%	225,948	4.1%
10	電気・ガス・水道・廃棄物処理業	13,641	3.5%	17,084	1.6%	170,944	3.1%
11	その他のサービス	13,608	3.5%	40,145	3.6%	209,365	3.8%
12	教育	13,532	3.5%	28,872	2.6%	200,911	3.6%
13	公務	13,112	3.4%	43,166	3.9%	256,999	4.6%
14	宿泊・飲食サービス業	6,149	1.6%	18,951	1.7%	85,773	1.5%
15	農林水産業	176	0.0%	456	0.0%	52,005	0.9%
16	鉱業	23	0.0%	569	0.1%	4,609	0.1%
総生産小計		390,553	100.0%	1,100,046	100.0%	5,570,488	100.0%

* 大阪府の総生産の降順に表示

* 構成比は各県の総生産に対する各経済活動の割合

* 総生産小計は、「輸入品に課される税・関税」「総資本形成にかかる消費税(控除)」を加減する前の金額です

3. 経済活動別総生産の推移

大阪府の経済活動別総生産の上位10分類の推移をみますと、コロナ禍の2020年度に増加したのは、「製造業（前年度比+3.7%）」、「情報通信業（同+0.9%）」、「建設業（同+8.9%）」、「電気・ガス・水道・廃棄物処理業（同+1.8%）」となりました。

一方、物品賃貸業、広告業、職業紹介・労働者派遣業などの「専門・科学技術、業務支援サービス業」、医療業、社会保険・社会福祉・介護事業などの「保健衛生・社会事業」については、2020年度は減少したものの、長期にわたって増加傾向にあり、今後の増勢が期待できます。

経済活動別総生産(2020年度) 上位10活動の推移

(単位:億円)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
分類	製造業	卸売・小売業	不動産業	専門・科学技術、 業務支援サービス業	保健衛生・社会事業	情報通信業	建設業	金融・保険業	運輸・郵便業	電気・ガス・水道・ 廃棄物処理業
年度										
2011	63,199	64,535	49,732	33,030	29,328	21,481	15,310	17,253	21,162	10,439
2012	61,249	64,444	48,243	31,712	30,680	21,194	14,375	16,739	21,592	10,291
2013	60,919	65,896	46,588	32,355	31,777	21,248	14,972	17,257	22,528	11,114
2014	63,685	64,826	46,707	33,512	32,221	21,132	15,462	16,961	22,320	11,448
2015	67,489	64,796	48,209	36,035	34,688	21,844	16,237	17,023	23,054	13,194
2016	65,628	63,411	49,192	37,378	35,700	22,150	17,425	16,165	23,527	13,059
2017	70,356	65,939	49,772	37,916	35,803	21,923	18,581	16,475	24,268	13,573
2018	70,764	65,976	49,733	39,399	36,344	22,306	18,375	16,606	24,932	13,296
2019	67,203	63,467	51,512	39,985	37,449	21,564	19,154	16,529	24,528	13,401
2020	69,685	58,206	51,484	39,750	37,193	21,760	20,854	16,252	15,119	13,641

* 網掛けは前年度比減少

【資料】県民経済計算(内閣府)

以上